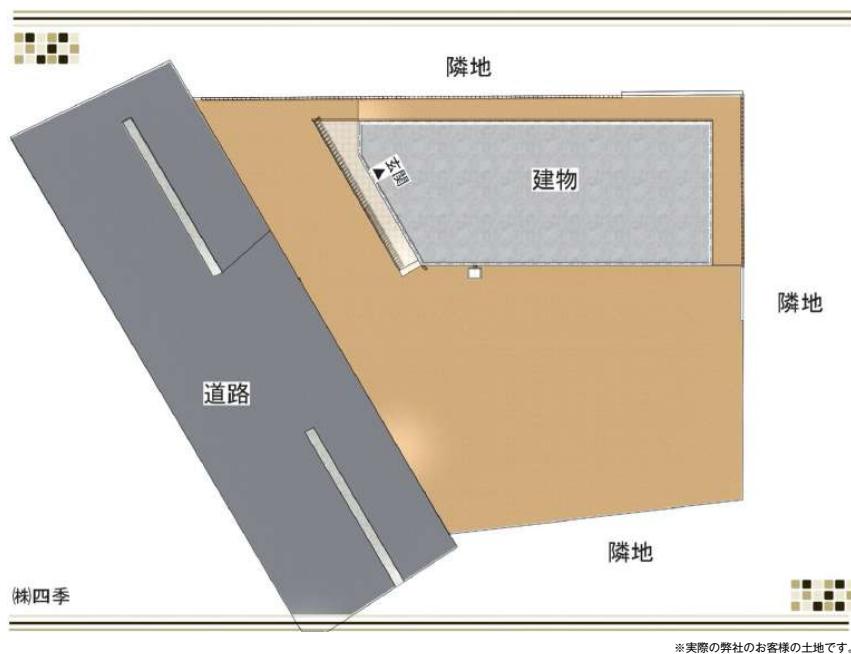


■ 外構計画について

1.隣地との境界

2.各エリアに振り分けるゾーニング

まとめ



例えば、上記のような土地に建物を建てたとします。

当たり前ですが、ほとんどの土地は隣地と道路がありますよね。

この土地でどのように外構計画を立てていくか？

順を追ってご説明します。

1

隣地との境界

最初に考えるべきは、3方向にある隣地との境界をどうするかです。

赤線の部分ですね。

いくつかの考え方が出てくると思います。

例えば、

◎別に何もしなくて良い

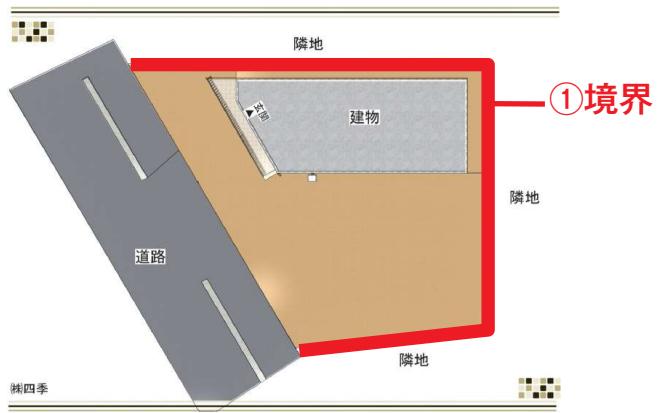
◎最低限でいいから境界だけはハッキリとしておきたい

◎簡単に自分の敷地に入って来られないようにしたい

◎隣からの視線を気にしないようにしたい

当然、住むあなたやご家族の考え方方が尊重されるべきです。

あなたはどうしたいですか？



方法 1 別に何もしなくて良い → そのまま。境界は何もしない

方法 2 最低限でいいから境界だけはハッキリとしておきたい →
必要最低限の高さで1段か2段のブロックだけを積む

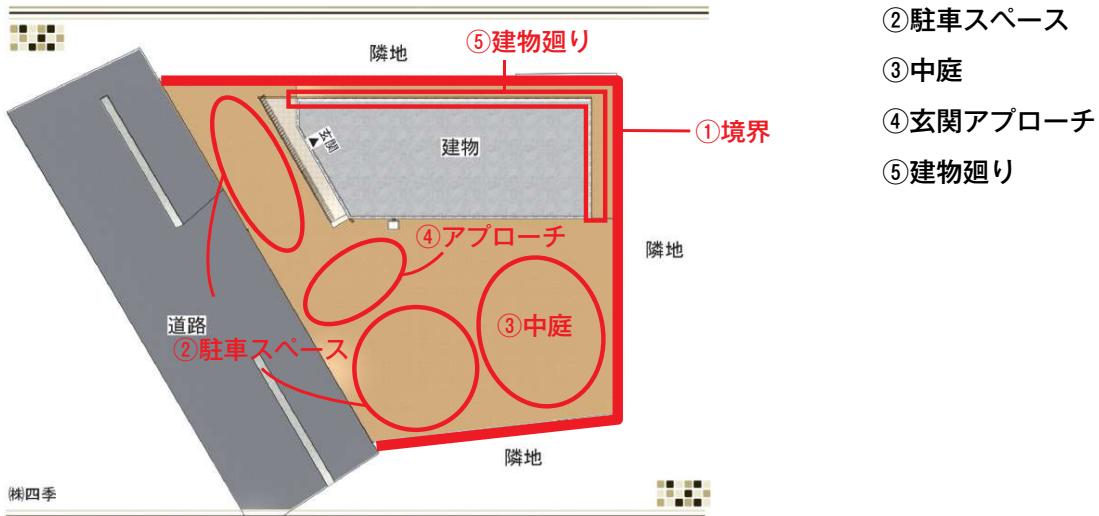
方法 3 簡単に自分の敷地に入って来られないようにしたい →
上記のブロック+安めのフェンスで地面から1M~1.2Mの境界を作る

方法 4 隣からの視線を気にしないようにしたい →
高さ1.6M~1.8M程度の目隠しフェンスや植栽を使って目隠しをする

こんな方法が考えられますが、下に来るほど、境界が長くなればなるほど費用も掛かります。

2 各エリアに振り分けるゾーニング

次に、土地の中を各エクステリアのパーツに振り分けます。専門用語では「ゾーニング」と呼んでいます。
主に次のパーツに振り分けます。



②駐車スペース

まずは、大きなもの(車)から考えます。
駐車スペースはどこにするのが最も良いのか?
通常何台分必要で、来客用に何台必要なのか?
こちらのお客様の場合、通常はご夫婦の2台。来客用に1台あ
ればOKとなりました。

車で道路から入ってどこに駐車をすればスムーズに駐車で
きて、車を降りて玄関まで入れるのか?を考えます。
そうすると、②の位置が広さ、動きともにスムーズだと考
えられます。



このように駐車すれば、最大で4台駐車可能となります。
そして、駐車スペースはコンクリート、アスファルト、砂利
が考えられますが、どの素材にするのかで金額が大きく変わ
ります。
また、駐車してから玄関に入るまでの動き（動線）をスムー
ズにすることと、
土や泥などの「汚れを玄関に持ち込まない」という考え方が
重要になります。

③中庭スペース

中庭のスペースは必然的にこの場所になります。
ここは家族のプライベートな空間になります。
ここで何をしたいのか、あなたやご家族の考え方を整理する
ことが需要になります。

こちらのお客様の場合、
◎小学生と中学生の子供にソフトボールの練習をさせてあげたい
◎中庭に面するリビングや和室から眺める庭にしたい
◎家族でバーベキューがしたい
◎道路から中庭が直接見えないようにしたい
というご希望がありました。



※目隠しフェンス（左）と植栽（右）。どちらも目隠しになる。

あなたやご家族は中庭でどんなことをしたいですか？
隣家や道路からの視線をカットしてプライベートな空間を作りたいですか？

④玄関アプローチ

玄関アプローチは来客が最初に目にする場所でもあるので、いわば「家の顔」になります。だから、ここは是非こだわって欲しいと私は思っています。

様々なエクステリア素材や植物を組み合わせて、「家の顔」を作りたいものです。



※様々なエクステリア素材や植物を組み合わせて、
「家の顔」を作りたいものです。

⑤建物廻り

現状の土のまま何もしなければ、雑草がボウボウになります。通常は、あまりお金をかけずに雑草対策をするというのが基本的な考え方になりますので、防草シートを土の上に敷いて、砂利や瓦チップなどをその上に敷くという仕上げになります。

まとめ

—— ポイント ——

- 隣地との境界をどうするか？
- 駐車スペースは何台必要でどこに配置すべきか？
- 中庭をどのように使いたいか？
- 建物廻りはどうするか？
- 「家の顔」である玄関アプローチはどうするか？

重要なことですが、どなたにも予算はあります。

その予算をどう振り分けるか、こだわる部分とそうでない部分をどう考えるか。

エクステリアは使う素材で値段がかなり変わります。

限られた予算の中で自分たちが納得できる、使いやすいエクステリアを作るには、まずはあなたや家族の考え方をまとめることが重要。

その上で、専門家の意見が絶対に必要ですし、専門家によるしっかりとしたプランニングは必要不可欠です。